

14-15 シーズン第 1 戦 ルーキーチャレンジトロフィー 2014

【参加条件】

入隊後 1 年未満であること

【備考】

- ・機体は F-15FX で統一。
- ・参加者が 4 名のため、表彰台は 2 位まで。
- ・クラス別大会ではポイントは得られない。

1. 参加者

4 人(Wardog.7.8 丹頂 1.2)

2. 戦闘方式

総当たり・リーグ戦方式

3. 日時

2014 12 月 6~21 日 15 : 00~

【Entry member】

 FNK	1.Night bug			
所属	Wardog	7	階級：訓練兵	参考記録：大会初出場
クラス	-	-	- P	-
 FNK	2.Vleugel			
所属	Wardog	8	階級：訓練兵	参考記録：大会初出場
クラス	-	-	- P	-
 FSO	3.Procyon			
所属	丹頂	1	階級：下級兵	参考記録：大会初出場
クラス	-	-	- P	-
 FSO	4.Regen			
所属	丹頂	2	階級：訓練兵	参考記録：大会初出場
クラス	-	-	- P	-

【Result】

	 Wardog7	 Wardog8	 丹頂 1	 丹頂 2
 Wardog7		不戦敗	●	不戦敗
 Wardog8	不戦勝		●	●
 丹頂 1	○	○		●
 丹頂 2	不戦勝	○	○	

順位	名前	所属	国	勝ち数	負け数	合計	獲得P
1	Regen	丹頂 2		6	0	6	-
2	Procyon	丹頂 1		4	2	2	-
3	Vleugel	Wardog8		2	4	-2	-
4	Night bug	Wardog7		0	6	-6	-

-今大会からのルール変更-

- ・参加者が四人以下の場合は表彰対象を減らす。
- ・無断欠席は処罰の対象とする。

賞罰

表彰

Regen – 敢闘賞

・前半日程はPC不調・病欠だったが後半に復帰、Procyonとの試合にて再三の逆転劇を見せ見事撃破したことによる。

Procyon – 皆勤賞・努力賞

・全ての大会日程に出席し自身に割り当てられた試合を速やかに完遂したことによる。
・大会期間中の訓練による著しい技量の向上が確認されたことによる。

処罰

Night bug – 不名誉除隊

・すべての日程を無断欠席し、大会の進行に取り返しのつかない遅延を引き起こした。また、大会期間直前に開かれていた訓練所に顔を出さず、上司からの訓練の誘いも意に介さなかった。ついには戦わずして敗れるという隊にとって屈辱的な戦果を残してしまった。

Vleugel – 機体授与の見送り

・Night bugよりは軽度ではあったものの前半日程を無断欠席してしまった事実がある。無断欠席への処分の適用が今大会が最初であるのと、今回に関しては最後まで試合をこなしたため軽度の処分とする。

総括

1. 今大会の結果について

上記の通り、3度目の新人杯は扶桑勢の表彰台独占に終わった。これは第1回大会以来の偉業である。大会前の評価ではこの二人の入賞は確実視されていたが、その通りになった。また、ただ予想通りになったということだけでなく、大会期間中にProcyonが自主的に訓練を重ね、実力を大幅に伸ばしたということにも注目したい。それにより、消去法での上位入賞候補という位置から、自力入賞も可能であるという実力を見せつける結果となったのである。

ファーニクス勢は本大会開幕前に開かれていた訓練サーバーや大会に備えた講習に顔を見せなかったこと、また欠席により試合がなかなかできなかったのも相まってチームメイトをがっかりさせてしまった。これによりWardog隊は2013年2月のベテラン杯から続く4大会連続入賞記録が途絶えてしまった。

2. 問題・反省点

今大会は必要以上に長引いてしまったことをまず反省点としたい。

人数の面についても、過去最低人数を記録している。その上、度重なる無断欠席により遂行は不可能との判定を受けた者が居るため実質3名と、非常に寂しい大会でもあった。本来、人数が少ないなら

すみやかに終える事ができたはずではある。

また、第1回大会、第2回大会に比べ、参加者の平均的な質が低い水準にあったことも目立つが、それについてはJTF設立からさほど時間が立っておらず、準備期間が短かったため、多少はやむなしと考える。

次回の大会について

今回は、中止になった経験のある Old Planes Trophy(通称レシプロ杯)がグランプリ形式に形を変えて再始動する。3～5つの子大会を一連のシリーズとし、参加者はその大会のうち2つに参戦する。成績の算出方法は各子大会での順位点を合計し、最も小さい上位3名がシリーズ総合入賞となり、同率のメンバーが居る場合はその選手同士で戦闘を行って上位を決する。

このタイトルに限り、日本大会なら零戦 21 限定、ドイツ大会ならフォッケウルフ 190 限定、アメリカ大会なら P-51 限定と、子大会ごとに機種を指示される。そのため既存の大会に比べ、自身の得意機種を選びやすい。なお、順位決定戦では子大会で用いられなかった国籍の機体(下図では英国がそれに当たる)を用いる。

開催時期は4月から5月にかけて行う予定で、1～2週目を子大会の消化、3週目に残った子大会の消化と同率メンバー同士による順位決定戦、4週目を予備日に充てるとしている。

